



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東・大

上場会社名 モリ工業株式会社

コード番号 5464 URL <http://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 宏明

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)濱崎 貞信

TEL 06-4708-1271

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,966	0.8	1,552	△21.9	1,572	△19.4	1,008	△5.0
23年3月期第2四半期	19,816	17.8	1,988	—	1,949	—	1,062	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 829百万円(△4.0%) 23年3月期第2四半期 863百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	23	86	—	—
23年3月期第2四半期	25	07	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年3月期第2四半期	41,472		24,200		58.4	572	47	
23年3月期	43,078		23,583		54.7	557	82	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 24,200百万円 23年3月期 23,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	4	00	—	—
24年3月期	—	—	4	00	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	5	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,000	△3.3	3,100	△23.2	3,000	△24.7	1,800	△22.3	42	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期2Q	42,373,404株	23年3月期	42,373,404株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	100,258株	23年3月期	95,634株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期2Q	42,274,512株	23年3月期2Q	42,371,086株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(5) 追加情報	P. 7
3. 補足情報	P. 7
<参考資料>	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により一時的には悪化の方向にありましたが、サプライチェーンの復旧等により足元は持ち直しつつあります。しかしながら欧州発の金融市場の不安定化や、急激な円高等により先行きは不透明感が強い状況です。当社グループの主力商品であるステンレスは、主原料であるニッケルの市場価格が期中に上昇する局面はあったものの総じて低下しており、期初に比べ期末には20%強の値下がりとなったため、ニッケル同様に製品価格も軟化傾向にあります。

このような状況下におきまして、当社グループは震災直後の自動車用などの落ち込みを他部門でカバーし、売上高は199億66百万円（前年同期比0.8%増）となりました。また、収益面におきましては市況軟化の影響により、製品価格の値下がりや原材料価格の値下がりに先行する傾向にあり、営業利益は15億52百万円（前年同期比21.9%減）、経常利益は15億72百万円（前年同期比19.4%減）、四半期純利益は10億8百万円（前年同期比5.0%減）と前年同期に比べ減益となっております。

(製品部門別の実績)

ステンレス管部門では、主力の自動車用が震災直後の落ち込みをカバーできず、売上高は91億99百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

ステンレス条鋼部門では、前期の製品値戻しにより販売単価が前年同期のそれを上回ったため、売上高は58億12百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

ステンレス加工品部門では、環境対応型給湯器向け部品が好調を継続しているため、売上高は14億9百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

鋼管部門では、製品価格の値戻しと復興需要期待の仮需要が重なり建設仮設材用が大きく伸び、売上高は21億3百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

その他部門では、パイプ切断機は海外用が伸びております。また通信販売用商品の販売は好調に推移しておりますが、自転車の販売はやや低調でした。その結果、売上高は14億41百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(その他の実施事項)

- ①レーザー溶接造管機を導入し稼働を開始しました。
- ②関西電力より夏場の電力節減を要請され一部の設備を夜間操業へシフトし対応しました。
- ③持分法適用会社（タイ オートメタル社）からの増資引受要請を受諾しました。

(実施時期 本年12月、引受額 持分40%に対応する約1億円)

なお、このタイのオートメタル社への洪水の影響は、立地が首都バンコクの南に位置するため現時点では直接の被害はありません。

(製品部門別売上高比較表)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ステンレス管	9,465	47.8	9,199	46.1	19,586	47.4
ステンレス条鋼	5,614	28.3	5,812	29.1	12,303	29.7
ステンレス加工品	1,377	6.9	1,409	7.1	2,579	6.2
鋼 管	1,972	10.0	2,103	10.5	4,206	10.2
そ の 他	1,386	7.0	1,441	7.2	2,675	6.5
合 計	19,816	100.0	19,966	100.0	41,351	100.0

※ 報告セグメントが1つでありますので製品部門別に区分して記載しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は414億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億6百万円減少いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加9億60百万円、受取手形及び売掛金の減少15億82百万円、たな卸資産の増加7億43百万円、その他の流動資産の減少15億76百万円（内、未収入金の減少12億12百万円）などであります。負債の部の増減の主なものは、未払法人税等の減少11億22百万円、有利子負債の減少6億32百万円などであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は242億円となり、前連結会計年度末に比べて6億17百万円増加いたしました。これは、利益剰余金は7億97百万円増加いたしました。その他の包括利益累計額が1億79百万円減少したことなどによるものであります。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて3.7ポイント上昇し、58.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、主に震災後に低迷していた自動車用ステンレス管の回復が予想以上に早かったため業績予想を修正いたしました。通期の業績予想につきましては、ステンレス鋼の市況が軟化傾向にあり、先行き不透明感が強いことため予想数値を修正しておりません。

（平成23年10月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください）

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222	2,182
受取手形及び売掛金	14,142	12,560
たな卸資産	8,771	9,515
その他	2,163	587
貸倒引当金	△30	△28
流動資産合計	26,269	24,818
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,306	7,316
その他(純額)	6,647	6,708
有形固定資産合計	13,953	14,024
無形固定資産		
その他	15	17
無形固定資産合計	15	17
投資その他の資産		
その他	2,869	2,642
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	2,839	2,612
固定資産合計	16,808	16,654
資産合計	43,078	41,472
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,590	8,300
短期借入金	2,348	2,043
未払法人税等	1,487	365
引当金	409	364
その他	2,389	2,497
流動負債合計	15,224	13,571
固定負債		
社債	1,000	—
長期借入金	251	925
退職給付引当金	934	895
役員退職慰労引当金	459	368
長期リース資産減損勘定	1,247	1,135
その他	376	375
固定負債合計	4,270	3,701
負債合計	19,494	17,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	8,378	9,175
自己株式	△33	△35
株主資本合計	23,410	24,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	15
為替換算調整勘定	△0	△21
その他の包括利益累計額合計	173	△6
純資産合計	23,583	24,200
負債純資産合計	43,078	41,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,816	19,966
売上原価	15,166	15,836
売上総利益	4,650	4,130
販売費及び一般管理費	2,661	2,577
営業利益	1,988	1,552
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	22
持分法による投資利益	—	33
その他	20	21
営業外収益合計	44	77
営業外費用		
支払利息	56	33
売上割引	19	18
その他	6	5
営業外費用合計	83	58
経常利益	1,949	1,572
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
貸倒引当金戻入額	10	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除却損	2	10
投資有価証券評価損	104	80
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	166	—
特別損失合計	274	91
税金等調整前四半期純利益	1,691	1,480
法人税、住民税及び事業税	633	337
法人税等調整額	△4	135
法人税等合計	629	472
少数株主損益調整前四半期純利益	1,062	1,008
四半期純利益	1,062	1,008

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,062	1,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	△157
繰延ヘッジ損益	3	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△21
その他の包括利益合計	△198	△179
四半期包括利益	863	829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	863	829
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 追加情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 補足情報

〈参考資料〉 別紙

－ 以上 －

< 参考資料 >

平成23年10月31日
モリ工業株式会社

平成24年3月期 第2四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 H23. 3. 末	当四半期末 H23. 9. 末	増 減		前期末 H23. 3. 末	当四半期末 H23. 9. 末	増 減
流動資産	26,269	24,818	△1,451	負債	19,494	17,272	△2,222
現金及び預金	1,222	2,182	960	支払手形及び買掛金	8,590	8,300	△290
受取手形及び売掛金	14,142	12,560	△1,582	有利子負債	4,620	3,988	△632
たな卸資産	8,771	9,515	744	長期リース資産減損勘定	1,247	1,135	△112
その他	2,133	559	△1,574	その他	5,036	3,848	△1,188
固定資産	16,808	16,654	△154	純資産	23,583	24,200	617
有形固定資産	13,953	14,024	71	株主資本	23,410	24,206	796
土地	7,306	7,316	10	その他の包括利益累計額	173	△6	△179
その他	6,647	6,708	61				
無形固定資産	15	17	2				
投資その他の資産	2,839	2,612	△227				
資産合計	43,078	41,472	△1,606	負債・純資産合計	43,078	41,472	△1,606

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産 ÷ 累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前四半期	当四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.63	2.86	0.23

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	=	設備投資	-	減価償却	-	その他処分等
71		482		400		10

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 H23. 3. 末	当四半期末 H23. 9. 末	増 減
①有利子負債	4,620	3,988	△632
②現預金等換金性のもの	2,688	2,182	△506
実質有利子負債①-②	1,931	1,805	△126

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 22.4-22.9	百分比 %	当第2四半期 23.4-23.9	百分比 %	増減
売上高	19,816	100.0	19,966	100.0	150
売上原価	15,166	76.5	15,836	79.3	670
売上総利益	4,650	23.5	4,130	20.7	△520
販売費及び一般管理費	2,661	13.5	2,577	12.9	△84
営業利益	1,988	10.0	1,552	7.8	△436
営業外収益	44	0.2	77	0.4	33
受取利息	0		0		
受取配当金	23		22		
持分法投資利益	—		33		
その他の	20		21		
営業外費用	83	0.4	58	0.3	△25
支払利息	56		33		
売上割引	19		18		
その他の	6		5		
経常利益	1,949	9.8	1,572	7.9	△377
特別利益	16	0.1	—	—	△16
投資有価証券売却益	5		—		
貸倒引当金戻入額	10		—		
特別損失	274	1.4	91	0.5	△183
固定資産除却損	2		10		
投資有価証券評価損	104		80		
その他の	166		—		
税引前四半期純利益	1,691	8.5	1,480	7.4	△211
法人税等	629	3.1	472	2.3	△157
四半期純利益	1,062	5.4	1,008	5.1	△54

※ 前第2四半期の「特別損失」－「その他」は、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」であります。

6. 当第2四半期の経常利益増減要因(前第2四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 固定費の減少	139	1. 原材料を含めた変動費の増加	△516
計	139	計	△516
		差引	△377